

事業所名

でいさーびす あいりんご城

支援プログラム (参考様式)

作成日

R7 年

3 月

15 日

法人 (事業所) 理念		<p>「楽しい・安心できる・使命感」をテーマに重点を置いています。 まず、楽しい気持ちを持つためには、同じ目線に立って自分も一緒に楽しむ。 次に安心できる気持ちを持つためには、もしも相手が自分の家族や友達だったらと思って接することです。 最後に使命感は、「自分だから」「自分しかできない」という気持ちをもって行動する。</p>		
支援方針		<p>自然豊かな環境での「楽しい・安心できる・使命感を持った」児童発達支援 発達に特性のある子どもたちが、自然に囲まれた環境の中で、自分らしく成長し、社会の中で豊かに生きる力を育む ために、「楽しい・安心できる・使命感を持った支援」を大切にします。 ・自然素材を活かした制作活動 (押し花・泥だんご・木工 など) ・落ち葉やどんぐりを使った感覚遊び ・森の中での運動遊び (バランス遊び・かけっこ・木登り など) ・外でのびのびと活動しながら、「できた!」という体験を大切にします。 ・畑での収穫や動物のお世話など、自然の中だからこその活動を取り入れる。 ・子どもの成長の様子を共有しながら、一緒に見守る環境を作る。 ・自然遊びを通じて、着替えや身の回りのことを学ぶ機会をつくる。 ・みんなで協力しながら自然の中で過ごすことで、対人関係のスキルを育む。 ・子どもたちが自然の中でのびのびと育ち、自分らしく社会で生きる力を育むことを大切にします。 自然に囲まれた環境だからこそできる支援を通じて、子どもたちの「心と体の成長」を支えていきます。</p>		
営業時間		9 時 0 分から 18 時 0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<p>子どもたちが自然の中でのびのびと育ち、自分らしく社会で生きる力を育むことを大切にします。 自然に囲まれた環境だからこそできる支援を通じて、子どもたちの「心と体の成長」を支えていきます。 ・外遊びの前後に「靴を履く・脱ぐ」「帽子をかぶる・しまう」練習 ・畑で採れた野菜を使って「自分で盛りつける・箸やスプーンを使う」練習 ・みんなで食べる楽しさを感じながら「食事のマナー」を自然に学ぶ ・苦手な食材も「自分で育てた野菜」として食べることで、好き嫌いの克服につなげる ・来所持や退所時に「おはよう」「ありがとう」「さようなら」などの基本的なあいさつを言う習慣をつける</p>		
	運動・感覚	<p>自然の中で楽しみながら運動能力や感覚を育む 子どもたちが 楽しく体を動かしながら、運動能力や感覚の発達を促し、日常生活での動きや姿勢の安定、自信につなげる ことを目指します。自然豊かな環境を活かし、遊びの中で無理なく体を鍛えられる ように工夫します。 ・ドッジボールやサッカーをして、 投げる・キャッチする・蹴る 動作を強化 ・転がるボールを追いかけながら、 反射神経やバランス感覚 を養う ・山の斜面を利用して、ボールを投げたり転がしたりする遊びも取り入れる ・砂遊び・水遊び で手足の感触を楽しみながら、指先の力を育てる ・粘土やスライム遊び で感覚を楽しみながら、微細運動を促す ・自然の落ち葉や木の実を使った触覚遊びで、「ふわふわ」「ザラザラ」「ツルツル」などの感触の違いを体験</p>		
	認知・行動	<p>自然の中で楽しく学ぶ! 認知力・社会性を育む遊び 子どもたちが 楽しみながらワーキングメモリや観察力、空間認識、感情表現などのスキルを身につけ、日常生活の中で活かせる力を育む ことを目指します。自然豊かな環境を活かし、五感を使った体験を通して学ぶ ように工夫します。 ・「絵合わせゲーム」 → 動物や植物の絵カードを使い、視覚的にペアを探すことで記憶力を鍛える 「タイマーを使った時間管理」 → 外遊びの前に「この砂時計が落ちたらおしまいね」と伝え、切り替えをスムーズに 自然豊かな環境の中で、遊びを通じて無理なく「考える力・感じる力・切り替える力」を育てます。子どもたちが自分のペースで楽しみながら学び、日常生活の中でも自信を持って行動できる力 を育んでいきます。</p>		

	<p>言語 コミュニケーション</p>	<p>自然の中で楽しく学ぶ！会話力と相手を思いやる心を育む 子どもたちが 楽しみながら基本的な会話や気持ちの表現を学び、相手の気持ちを考えられる力を育む ことを目指します。 自然の中でリラックスしながら、遊びを通して会話の力を伸ばせる環境 を大切にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お友だちや先生が何かしてくれたら「ありがとう！」と言う練習 ・ぶつかったり、順番を間違えたときには「ごめんね」と素直に伝える ・「やりたいことを伝えよう！」 → 遊びの前に「私はブランコしたい！」「かけっこしたい！」と伝える練習 ・木の実や葉っぱを使って お店屋さんとお客さんになりきり、注文のやりとりを楽しむ ・「いらっしやいませ！」「これください！」「OO円です！」など、簡単なやりとりの練習 	
	<p>人間関係 社会性</p>	<p>子どもたちが 楽しみながら基本的なあいさつや礼儀、コミュニケーションの習慣を身につけ、友だちと協力する力を育む ことを目指します。 自然豊かな環境を活かし、遊びや体験を通じて社会性を学ぶ 機会をたくさん作ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベアでの宝探し → お友だちと協力して、森の中に隠されたアイテムを探す ・リレー遊びやチーム競争 → 2人1組で手をつないで走る「森のベアリレー」 ・協力して積み木遊び → 大きな枝や木の実を使って、一緒に「お家」や「橋」を作る ・誰かが困っていたら「どうしたの？」と声をかける練習 	
	<p>家族支援</p>	<p>子どもたちの成長には、保護者の安心やサポートが欠かせません。 私たちは、「うちの子は大丈夫？」という不安に寄り添いながら、子ども一人ひとりの成長を共に見守り、家庭と連携して支援 していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「最近〇〇ができるようになりましたよ！」など、ポジティブなフィードバックを伝え、不安を軽減 ・子どもの発達や特性に応じたアドバイスを、無理なくできる方法で提案 ・「こんな時はどうすればいい？」など、具体的な相談に親身に対応 ・写真付きの連絡帳 を活用し、「今日こんなことができました！」を具体的にフィードバック 	<p>移行支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「先生の話を聞く」「順番を待つ」などの基本的な集団行動の練習 ・ランドセルの開け閉め、机の整理整頓など、小学校に必要なスキルを身につける ・学校の行事（運動会・発表会など）を想定した体験活動を実施 ・着替え、靴の脱ぎ履き、持ち物の管理など、学校生活に必要なスキルの練習 ・お弁当や給食での食事の練習（配膳、お箸の使い方、食べるペースの調整） ・トイレの使い方（学校では個室が多いので、その環境に慣れる） ・友だちとの会話の仕方やルールを遊びの中で学ぶ（相手の話を聞く、順番を守る） ・トラブルが起きたときの対処方法を練習（言葉で伝える、先生に相談する）
	<p>地域支援・地域連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公園など、地域の施設を訪れ、公共の場でのルールやマナーを学ぶ ・消防署や警察署を訪問し、緊急時の対応や防災について学ぶ ・防災訓練や地域安全活動に参加し、災害時の対応を学ぶ ・SNSやホームページを活用し、支援の取り組みや子どもたちの成長の様子を発信 	<p>職員の質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員同士で学び合う社内研修 ・外部研修への参加促進（発達障害、感覚統合、行動支援、虐待防止、家族支援など）。 ・「子どもと一緒に楽しむ」ことを大切にする文化をつくる（職員もイベントに積極参加）。 ・「支援のプロ」としての自覚を高め、専門性を深める環境を整備。
	<p>主な行事等</p>	<p>・初詣・節分・運動会・遠足・クリスマス会・全事業所合同活動など</p>	